

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスRocket			
○保護者評価実施期間	2025年 9月1日 ～ 2025年9月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日 ～ 2025年9月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの固定化	毎日のプログラムの固定化で利用者さんたちにもわかりやすくしている。 固定化することで継続的な支援ができる。	プログラム自体は固定だが、内容はタイミングを見て変えるようにする。 ステップアップも大事だが、継続してできるようになることも念頭におきながら考慮していく。
2	親の会などを立ち上げていない	保護者の意向により、そういったことに疲れていたり、そもそも入りたくないという方が多いためあえてつくっていない。	保護者の意見を今後も大事にしていきたい。
3	学校との連携	学校との連携担当者を決めている。 学校の先生との連携により、進路や日頃の様子を随時聞けるようにする。	現状維持。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラムの固定化	強みでもあり弱みでもある。ルーティンとして動きやすい反面、飽きという弱みにもなる。	プログラムは固定しながら、飽きのこないように入れ替えをおこなったりするように検討する。
2	後継者（スタッフ）の採用	費用、経費、人材不足。新人育成と共に経験者採用となると非常に難しい。	資格保有者には積極的に声をかけるようにして、事業所内でも研修等を増やし資格取得支援をしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスRocket

公表日 2025年10月1日

利用児童数 2025/9/1 17

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		1	特に不満はない 広すぎた方が目が行き届かなそうで不安	スペースに関してはどうしようもないところがあるが、常に最善を考慮していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		現状維持
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			2		常に最善を考慮していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1	時間通りに行けない時もある。	あくまでも目安であることを説明し、理解していただく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1		11		固定されていてこどもは安心していても す	プログラムは固定。飽きたから次になると前回できていたことができなくなる事がある過去の反省を活かし、定着、継続を念頭に置きながら、それでも飽きない工夫をしていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			12		事業所さんがすることではないと思う。	現段階でのニーズの必要性を考慮する。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11			1		支援計画に沿って丁寧に説明する。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	1	2	個人部に相談に乗ってもらっています。	研修案内の配布等を心がける。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1		1	毎回会えるので安心です。	保護者送迎の際には短時間でも必ず顔を合わせて短時間でもその日の様子を伝える。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1		1	いつも助かります。	6月に1度だけではなく、不定期でも必要に応じて実施する。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	10	1	今後もしません	現段階でのニーズの必要性を考慮する。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12				これまで通り月1の通信、ライン連絡でOK	現状維持
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12				散歩途中に避難所を覚えたようです。	天候に左右されることもあるため全員に実施することは難しいが、できるだけ全員が参加できるように計画を立てる。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1		自力通所の場合は家を出る時、事業所を出る時の連絡を必須にする。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			5	怪我、事故がないのでわからない。大雪の時や災害級のときの時のライン連絡は助かる。	態勢管理を確実にして、事故の未然防止に努める。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			2	行くまでに時間がかかり行き渋ることはあるが帰ってきたら楽しかったと聞いて安心しています。	楽しいことも大切だが、辛いこと、しんどいことも経験できる場所ということも心がける。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11			1		今後も最善のサービス提供に努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスRocket		2025 年10 月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		学校と同じような空間をイメージしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		人員基準に則り配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		将来社会進出に向けてを考慮し情報は最低限にし、わかりやすいように工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			消耗品等の交換時期の検討をする
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		クールダウンできる部屋を設置している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		アルバイトの方は利用者さんのくる前に打ち合わせをするようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		面談時にはその都度耳を傾けるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーティングやその他の時間を使い交流する時間を増やしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		今後実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		資格取得など目に見える形での研修をするようにしている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		今年度よりHPで新たにアップする。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		ニーズ、ウォンツを分ける事を重点位においてスタッフで会議している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		各種会議、特に支援計画作成の段階では毎回検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	全員が閲覧できるファイルで保管している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		事業所独自のアセスメントツールを用いて、日々の記録を残し、必要があれば再びアセスメントを実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		今年度より実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		基本的にプログラムを固定し、日、人数によって考慮している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		6	プログラムは固定。できるようになったことを継続できるようにする。その中でスモールステップでスキルアップを目指すことを心がけている。	固定化だが、飽きのないように。できたら終わりではなく継続が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	プログラムによって個別、集団を分けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		パートの方は就業時間を利用者の来る前に設定し、支援前は情報共有できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		パートの方は先に帰ることもあるため、次回就業時になってまう。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		保護者と共有の連絡帳を使用している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		特記する工夫はなし。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			再度スタッフ全員にガイドライン研修を行う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		こちらが与える支援、自分で考えて行動する支援を分けて実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		基本的に1番把握できている児発管が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	担当を決めて実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		6		前年度該当者なし。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		前年度該当者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		今後検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		保護者意向もあり、今後も予定なし。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		姫路市は委員が決まっているため参加できない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時、面談時に話をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	情報提供は紙媒体で発信している。	参加にはなかなかつなげていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時、利用者負担については初回請求月、報酬改定時に説明している。	事業所間で利用者負担が異なる事があるが、そちらも説明する必要がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリング、その他面談時に直接聞くようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		適時対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	保護者意向もあり現在検討していない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情マニュアルを作成し、担当者を決めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月1度通信を発行し、必要に応じてライン配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		書類関係は鍵のかかるケースで保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルは誰もがみれるように入り口本棚に設置している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		散歩を含め避難訓練、避難場所の確認を定期的に行なっている。	天候や、曜日、時間によって参加できない利用者さんもあるため全員が参加できるように工夫していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		対象者はアセスメントで聞き取りをしている。 現在対象者なし。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対象者はアセスメントの際に聞き取りをしている。こちらからの飲食物の提供はなし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		今年度、安全管理研修実施予定。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		スタッフ全員が閲覧できるように保管している。	スタッフによって判断基準が異なることがある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		毎年最低2回の研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		委員会を設置し、委員会を通して検討するようにしている。	前年度、今年度該当者なし。